



第124回 日本循環器学会中国四国合同地方会
ダイバーシティ推進委員会企画

「カテーテル検査におけるタスクシフト」

働き方改革の時代を迎え、確実に持続可能な診療体制へ！

医師の働き方改革が4月から本格化し、ACS対応をはじめ、地域の診療体制維持に各施設とも苦慮されていることと存じます。最近では臨床工学技士や看護師がカテーテル検査のセカンドとして虚血・不整脈で活躍している施設が増えています。勤務環境を実際に改善させる「真の働き方改革」が行われるためにはこの分野の議論は非常に重要です。より良い環境にむけて、会員の皆様のご意見ご指導をお待ちしております。当日は是非会場へお立ち寄りください。

日時： 2024年 6月 23日（日） 9時40分 ～ 11時10分

会場： 広島国際会議場 第1会場 B2F ヒマワリ(現地開催のみ)

座長 末富 建 山口大学大学院 医学系研究科 器官病態内科学 助教
中野由紀子 広島大学大学院 医系科学研究科 循環器内科学 教授

「中四国地区責任医師への事前アンケート結果報告」

末富 建

山口大学大学院 医学系研究科 器官病態内科学 助教

「地方病院の心カテ室におけるタスクシフト」

内田 利彦

益田赤十字病院 循環器科 部長

「専門性を発揮した心カテ室看護師のタスクシフト」

湯面 真吾

済生会山口総合病院 救急部兼アンギオ室 特定看護師

「不整脈診療におけるメディカルプロフェッショナルとのタスクシェア」

宮本 翔伍

広島大学病院 循環器内科学

「カテーテル検査室のタスクシフトをすすめる上での課題」

大原 美奈子

香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科 学内講師